

防衛品の一括購入 改正案が衆院通過

今国会で成立へ

高額な防衛装備品をまとめ買いし、支払期間を最長十年にできるようにする特別措置法改正案が十二日の衆院本会議で、与党などの賛成多数で可決、衆院を通過した。今年三月末で失効する同法を五年延長する内容。参院での審議を経て今

国会で成立する見通しだ。

改正案は、一括購入により価格の値引きを可能とすること、調達コストの削減につなげるのが狙い。立憲民主党の青柳陽一郎氏は本会議の討論で「コストの縮減見込み額の根拠が不明確で効果が曖昧だ」と指摘。共産党の宮本徹氏は高額な防衛装備品の導入に関し「財政の硬直化を招く。到底許されないと批判した。